

女川原子力発電所第2号機 工事計画審査資料	
資料番号	02-変 2-工-B-07-0001 改 2
提出年月日	2023年 5月 18日

VI-2-9-4-4 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備

並びに格納容器再循環設備の耐震性についての計算書

2023年 5月

東北電力株式会社

申請範囲目録

- VI-2-9-4-4 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備の耐震性についての計算書
 - VI-2-9-4-4-1 非常用ガス処理系の耐震性についての計算書
 - VI-2-9-4-4-1-2 管の耐震性についての計算書(非常用ガス処理系)

VI-2-9-4-4 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに
格納容器再循環設備の耐震性についての計算書

目次

VI-2-9-4-4-1 非常用ガス処理系の耐震性についての計算書

VI-2-9-4-4-1 非常用ガス処理系の耐震性についての計算書

目次

VI-2-9-4-4-1-2 管の耐震性についての計算書（非常用ガス処理系）

02 変二 VI-2-9-4-4-1 R1E

VI-2-9-4-4-1-2 管の耐震性についての計算書
(非常用ガス処理系)

1. 管の耐震性についての計算書（非常用ガス処理系）

本申請は、非常用ガス処理系 主要弁（T46-F001A, B, T46-F003A, B）の要目表の記載の変更であり、変更内容は弁箱厚さに腐食代を考慮した寸法（設計確認値）への記載変更並びに弁ふた厚さ及び弁ふた材料を記載するものである。

弁箱厚さに腐食代を考慮した寸法（設計確認値）への記載変更について、令和3年12月23日付け原規規発第2112231号にて認可された設計及び工事の計画の要目表では、要目表の「変更前」に公称値を記載し、要目表の「変更後」に「変更なし」と記載していた。また、弁ふた厚さ及び弁ふた材料については、要目表の「変更前」に「-」と記載していた。他の主要弁と記載の整合を図るため要目表の弁箱厚さについて腐食代を考慮した寸法（設計確認値）へ記載を変更し、弁ふた厚さ及び弁ふた材料を記載する。

本計算書については、公称値を使用して解析モデルを作成していること及び本申請が要目表の記載の変更のみであり実物の変更を伴わないものであることから当該弁の重量及び設置場所等に変更はない。このことから「3. 計算条件」に影響を与えるものではなく評価結果の変更もないことから、本計算書は、令和3年12月23日付け原規規発第2112231号にて認可された設計及び工事の計画から変更はない。